

中堅期保健師コンサルテーションプログラム(行政分野)

① 事前課題

- 課題図書を読む
- テーマ別の最新の動向（知識・技術・関連法・社会情勢等）を調べる
- 「実践内容記入シート」の記入
- 「実践計画記入シート」の記入
- 「個人評価チェックシート」の記入



② 前期プログラム 8月8日(月)、9日(火)

＜目標＞						
<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健活動推進のために、必要な知識や技術を習得する ○ 課題テーマとする健康課題を構造的に捉え直すことができる ○ 保健活動実践を進めるための計画を作成し、活動の見通しをたてる ○ 中堅期保健師に求められる力量が自覚できる 						
8月8日(月) 9:30-17:30 (7時間)【前期プログラム 1日目】						
	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい	
	9:10		(開場)			
全体	9:25-9:30		オリエンテーション			
	9:30-9:35		開会・関係者紹介	日本看護協会／事業開発部		
	9:35-9:50 (15分)	挨拶	挨拶	日本看護協会／会長 坂本すが		
	9:50-10:05 (15分)	挨拶	保健師の現任教育について	厚生労働省健康局総務課 保健指導室 室長補佐 石原美和		
	10:05-11:05 (60分)	講義	保健師活動強化コンサルテーション事業について ・ コンサルテーションプログラムの目的 ・ 中堅期保健師の役割 ・ コンサルテーションプログラムの進め方	日本看護協会／常任理事 井伊久美子	中堅期保健師に求められる役割を理解し、本コンサルテーションプログラムの目的と、進め方が理解できる	
テーマ別	11:05-12:00 (55分)	グループワーク	受講者の自己課題と計画紹介 (自己評価チェックシートの確認含む) (7分×3～4名) 助言	受講者 コンサルタント	各参加者の問題意識と課題について共有する	
	12:00-13:00 (60分)		(昼食)			
全体	13:00-13:40 (40分)	講義	母子保健活動 (講義+質疑応答)	国立保健医療科学院生涯健康研究部／主任研究官 中板育美	○公衆衛生看護を基盤としたテーマ別の専門能力の強化 ・ テーマ別の最新の動向を知る ・ 中堅期保健師としての必要な知識と技術の習得 ・ 自己の課題が認識できる (中堅期保健師としてどのように社会情勢や地域社会の現状を判断し受け止め、事業展開していくのかのロールモデルを知る)	
	13:40-14:20 (40分)	講義	メンタルヘルス活動 (講義+質疑応答)	愛知県立大学看護学部看護学科／教授 佐久間清美		
	14:20-14:30 (10分)		(休憩)			
	14:30-15:10 (40分)	講義	生活習慣病予防活動 (講義+質疑応答)	日本看護協会／常任理事 井伊久美子		
	15:10-15:50 (40分)	講義	介護予防活動 (講義+質疑応答)	日本看護協会／ 保健師職能委員会副委員長 堀井とよみ		

	15:50-16:00 (10分)	(休憩)			
	16:00-17:30 (90分)	講義 グループ ワーク 全体討議	災害時の保健師活動 ・災害時の保健師活動(全般)(30分) ・災害時における市町村保健師の役割 (30分) ・ディスカッション(30分)	日本看護協会／常任理事 井伊久美子 新潟医療福祉大学健康科学 部看護学科／准教授 宇田優子	
	17:30		2日目の予定について	事業開発部	
	課外	個別 作業	実践計画の見直しと修正		習得した情報や知識を実践計画 に反映することができる
8月9日(火) 9:30-15:00 (4.5時間)【前期プログラム 2日目】					
	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10		開場		
	9:25-9:30		オリエンテーション		
全体	9:30-10:30 (60分)		実践事例発表	肝付町地域包括支援センター/ 能勢 佳子 枚方市健康部 保健センター/ 橋本美弥子	実践を進めるためのイメージを 共有でき、保健活動実践の見通し がたてられる
テーマ別	10:30-12:00 (90分)	グループ ワーク	各自の実践計画の修正 各自の実践計画の修正点について のディスカッション	受講者 コンサルタント	1日目の講義で習得した内容とグ ループディスカッションを通し て自分の実践計画に反映させる
	12:00-13:00	昼食			
全体	13:00-13:15 (15分)	発表	実践計画の発表 ・母子保健1人 発表7分 助言8分	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	他者の発表を聞き実践計画の実 施にむけ、具体的な実践のイメ ジができる
	13:15-13:30 (15分)	発表	実践計画の発表 ・生活習慣病予防1人 発表7分 助言8分		
	13:30-13:45 (15分)	発表	実践計画の発表 ・介護予防1人 発表7分 助言8分		
テーマ別	13:45-14:45 (60分)	グループ ワーク	各自の実践計画の再修正 質疑応答・助言	受講者 コンサルタント	自己の実践計画に対してのコン サルタントからの助言を受ける ことで、地域の健康課題に対応し た中堅期保健師としての役割や 課題をふまえた計画に修正でき る
全体	14:45-15:00 (15分)	講義	事務連絡・アンケート	日本看護協会 事業開発部	



③ 実践の場(8月)

<p><目標></p> <p>○ 課題テーマの健康課題を構造的に捉え直す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当する地域の健康に関するデータ等の整理・課題分析 ・ 法的施策的情報整理 ・ これまでの取り組み・関連事業の総括
--



課題提出：8月23日(火)12:00 提出〆切



④ 中期プログラムⅠ 8月31日(水)

<目標> ○ 自己の実践経過をまとめ、今後の活動計画とその実践について見通しをたてる					
8月31日(水) 9:30-17:00 (6.5時間)					
	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10			(開場)	
全体	9:25-9:30		オリエンテーション・関係者紹介		
	9:30-9:40 (10分)	講義	本日のコンサルテーションプログラムについて	日本看護協会／常任理事 井伊久美子	
テーマ別	9:40-12:00 (140分)	グループ ワーク	・実践内容の発表 実践の振り返り 困難点や疑問点のまとめ ・質疑応答	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	・参加者同士の課題や方向性を共有する ・他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	12:00-13:00 (60分)			(昼食)	
全体	13:00-14:00 (60分)	発表	実践計画・実践内容の発表 ・母子保健(10分×1名) 10分質疑 ・生活習慣病(10分×1名) 10分質疑 ・介護予防 (10分×1名) 10分質疑	発表者：各テーマからの代表者 助言者：コンサルタント	・他分野の実践事例を全体で共有する ・他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	14:00-14:10 (10分)			(休憩)	
全体	14:10-15:10 (60分)	グループ ワーク 意見交換 助言	意見交換(実践を通して中堅期としての自己を振り返る) ・各グループでの意見交換 ・全体での意見交換 ・オブザーバーからのコメント	進 行： 日本看護協会／常任理事 井伊久美子	前期プログラムから今日までの実践を振り返り、自分は中堅期保健師として現状はどうかを明確にする
	15:10-15:20 (10分)			(休憩)	
テーマ別	15:20-16:50 (90分)	グループ ワーク	コンサルテーション	助言者：コンサルタント	・保健活動推進にあたり出現する困難点・疑問点の解消を図る ・他者との意見交換を通じ実践の方向性の確認をする
	16:50-17:00 (10分)		事務連絡		



⑤ 実践の場(9月)

<目標>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭訪問や面談を実践し、課題テーマの健康課題を構造的に捉え直す <ul style="list-style-type: none"> ・ 当事者聞き取り訪問と事例検討 ・ 関係する機関、者への聞き取り訪問 ・ 組織的活動計画・実践(関係職種と連携した保健師活動の実践) 	



課題提出：9月21日(水)12:00 提出〆切



⑥ 中期プログラムⅡ(各テーマ別コンサルテーション) 9月30日(金)

<目標> ○ 自己の実践経過をまとめ、今後の活動計画とその実践について見通しをたてる					
9月30日(金) 9:30-17:00 (6.5時間)					
	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10			(開場)	
全体	9:25-9:30		オリエンテーション		
	9:30-9:50 (20分)	講義	本日のコンサルテーションプログラムについて	日本看護協会/常任理事 井伊久美子	
テーマ別	9:50-11:50 (120分)	グループワーク	・実践内容の発表 実践の振りかえり 困難点や疑問点のまとめ ・質疑応答	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	・参加者同士の課題や方向性を共有する ・他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	11:50-12:50 (60分)			(昼食)	
全体	12:50-13:50 (60分)	発表	実践計画・実践内容の発表 ・母子保健(10分×1名) 10分質疑 ・生活習慣病(10分×1名) 10分質疑 ・介護予防 (10分×1名) 10分質疑	発表者：各テーマからの代表者 助言者：コンサルタント	・他分野の実践事例を全体で共有する ・他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	13:50-13:55 (5分)			(休憩)	
全体	13:55-14:55 (60分)	講義	実践事例発表	奈良市保健所健康増進課 永松 晶子 竹田市役所健康増進課 内柳 知恵美	実践を進めるためのイメージを共有でき、保健活動実践の見通しがたえられる
	14:55-15:00 (5分)			(休憩)	
テーマ別	15:00-16:50 (110分)	グループワーク	コンサルテーション	助言者：コンサルタント	・保健活動推進にあたり出現する困難点・疑問点の解消を図る ・他者との意見交換を通じ実践の方向性の確認をする
	16:50-17:00 (10分)		事務連絡		



⑦ 実践の場(10月~11月)

<目標> ○ 軌道修正した活動計画に基づき保健活動を継続実践する ○ 評価の方向性と評価に必要なデータ収集について見通しを立てる	
--	--



課題提出：11月21日(月)12:00 提出〆切



⑧ 中期プログラムⅢ(各テーマ別コンサルテーション) 11月30日(水)

<目標> ○ 自己の実践経過をまとめ、今後の活動計画とその実践について見通しをたてる					
11月30日(水) 9:30-17:00 (6.5時間)					
	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10			(開場)	
全体	9:25-9:30		オリエンテーション		
	9:30-9:50 (20分)	講義	本日のコンサルテーションプログラムについて	日本看護協会/常任理事 井伊久美子	
テーマ別	9:50-12:00 (130分)	グループワーク	・実践内容の発表 実践の振りかえり 困難点や疑問点のまとめ ・質疑応答	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	・参加者同士の課題や方向性を共有する ・他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	12:00-13:00 (60分)			(昼食)	
全体	13:00-14:00 (60分)	発表	実践計画・実践内容の発表 ・母子保健(10分×1名) 10分質疑 ・生活習慣病(10分×1名) 10分質疑 ・介護予防 (10分×1名) 10分質疑	発表者：各テーマからの代表者 助言者：コンサルタント	・他分野の実践事例を全体で共有する ・他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	14:00-14:10 (10分)			(休憩)	
全体	14:10-15:10 (60分)	講義	保健活動の企画・実施・評価～保健活動の可視化を目指して～ 「保健活動の企画・実施・評価のあり方について」	国立保健医療科学院生涯健康研究部/主任研究官 中板育美	実践経過を総括・評価(企画・ストラクチャ評価、実施評価、結果評価)する方法が理解でき、実践の成果と新たな課題を提示し、政策提言ができる能力を強化する
	15:10-15:20 (10分)			(休憩)	
テーマ別	15:20-16:50 (90分)	グループワーク	コンサルテーション	助言者：コンサルタント	・保健活動推進にあたり出現する困難点・疑問点の解消を図る ・他者との意見交換を通じ実践の方向性の確認をする
	16:50-17:00 (10分)		事務連絡		



⑨ 実践の場(12月～1月)

<目標> ○ 軌道修正した活動計画に基づき保健活動の継続実践する ○ 評価の方向性と評価に必要なデータ収集について見通しを立てる	
--	--



課題提出：1月17日(火)12:00 提出〆切



⑩ 後期プログラム 1月27日(金)、28日(土)

<目標> ・ 自己の実践を振り返り中堅期保健師としての力量形成につながった要件を明確にする ・ 実践経過を総括・評価しその成果と新たな政策課題を提案することができる能力を強化する					
1月27日(金) 9:30-16:00(5.5時間)【後期プログラム 1日目】					
	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10		(開場)		
	9:25-9:30		オリエンテーション		
全体	9:30-10:30 (60分)	講義	このプログラムでの実践プロセスの意義の再確認と「聞き取り訪問」での個別事例からの読み取りについて	日本看護協会／常任理事 井伊久美子	本プログラムでの実践内容の意義を明確にし、中堅期保健師としての専門能力の向上につなげる
	10:30-10:40 (10分)		(休憩)		
テーマ別 全体	10:40-12:00 (80分)	グループ ワーク	活動成果の発表と共有(グループワーク1) ・ 活動成果発表 実践の振り返り(総括と評価) ・ 質疑応答 ・ コンサルテーション	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者同士の活動成果や今後の方向性を共有する ・ 他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	12:00-13:00 (60分)		(昼食)		
テーマ別	13:00-14:00 (60分)	グループ ワーク	活動成果の発表と共有(グループワーク2) ・ 活動成果発表 総括と評価から見えてきた、自組織への政策提言もしくは今後の「組織的活動計画・実践」の内容 ・ 質疑応答 ・ コンサルテーション	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践経過を総括・評価(企画・ストラクチャ評価、実施評価、結果評価)し、その成果と新たな課題を提示し、政策提言ができる能力を強化する
	14:00-14:10 (10分)		(休憩)		
全体	14:10-16:00 (110分)	発表	活動成果の発表 ・ 母子保健(15分×1名+20分質疑・助言) ・ 生活習慣病(15分×1名+20分質疑・助言) ・ 介護予防(15分×1名+20分質疑・助言)	発表者：各テーマからの代表者 助言者：コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者同士の活動成果や今後の課題や方向性を共有する ・ 他者の発表を通して自己の実践を振り返る

1月28日(土) 9:30-15:30 (5.0時間)【後期プログラム 2日目】					
	9:10	(開場)			
	時間	形式	内容	講師・発表者等 ねらい	
	9:25-9:30		オリエンテーション		
全体	9:30-10:30 (60分)	講義	保健師を取り巻く環境の変化と保健師の基礎教育と現任教育について	日本看護協会／常任理事 井伊久美子	
テーマ別 全体	10:30-12:00 (90分)	個別 グループ ワーク 全体討議	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンサルテーションプログラムでの6ヶ月間の実践内容の振り返り ・ 「能力強化のための活動」で自分が実施したこと、その意味、そこから得た中堅期保健師としての学びを振り返る。また、「保健師は何をする人か」を本プログラムでの実践を通して改めて考える。 ① 個別シートに書き出し ② グループワーク ③ 全体討議 	(進行) 日本看護協会／常任理事 井伊久美子 愛知県立大学看護学部 看護学科 / 教授 佐久間清美	自己の実践を振り返り中堅期保健師としての力量形成につながった要件を明確にする 「保健師は何をする人か」を自分の言葉で語ることで、自己の保健師像を確立し、モチベーションの向上やアイデンティティの強化につなげる
	12:00-13:00 (60分)	(昼食)			
テーマ別 全体	13:00-13:50 (50分)	グループ ワーク 全体討議	今後の継続的な研鑽をどう進めるか	(進行) 日本看護協会／保健師職能委員会副委員長 堀井とよみ 新潟医療福祉大学健康科学部看護学科／准教授 宇田優子	自己の実践を振り返り中堅期保健師としての力量形成につながった要件を明確にし、今後の自己の力量形成に必要な研鑽のあり方について見通しを立てることができる
	13:50-14:00 (10分)	(休憩)			
全体	14:00-14:40 (40分)	助言	中堅期保健師の力量形成に関する検討委員会委員よりコメント	「中堅期保健師コンサルテーションプログラム検討委員会」委員	
	14:40-15:30 (50分)	総評	総評 コンサルタントより 10分×5名	コンサルタント	
	15:30	(閉会)			



最終課題の提出 2月3日(金)12:00 提出×切